

共生

奈良県生協連

2015年4月

NO.96

万葉のいぶきを求めて—(61)



恭仁宮大極殿跡

つく く に さや
今造る 久邇の都は 山川の 清けき見れば うべ知らすらし
おほ とも の やか もち
大 伴 家 持

「いま建設が進む久邇の都は、山や川の清らかさを見れば、まことにここを都として君臨なさることと思われるよ」

咲く花の匂うが如くと詠われた奈良時代も、大伴氏等の古参の豪族と、新興貴族の藤原氏の権力争いが熾烈さを増していました。恭仁京造営は皇族出身の橘諸兄が中心となって進め、大伴氏等が政治参画のチャンス到来との思いがこの歌に込められているようです。

聖武天皇は740年恭仁京に遷都し、新しい政策を次々と打ち出します。国分寺の建立、墾田永年私財法、大仏建立等々。しかし、平城京の大極殿を分解し、恭仁宮に運びますが、財政難のため4年余で恭仁宮の造営は中止に。745年には難波に遷都することに。

幻の都と言われた恭仁宮大極殿跡は、京都府木津川市加茂町の加茂小学校そばの夏草の中に静まり返っていました。難波に遷都の後、大極殿は山城国国分寺に施入されました。

2015年度 奈良県生協連の活動方針

今年は東日本大震災から4年、阪神淡路大震災から20年、そして終戦・被爆70年にあたります。2015年度も、人のきずなで強めたい復興支援、防災、地域のくらし。学び考え協同して守りたい、平和、環境、食の安全、消費者の権利、そしていのちと健康…。

実現をめざして奈良県生協連は2015年度活動の重点課題とすすめかたを次のように決めました。会員生協のみならず、行政・諸団体のみならずにもご協力をいただきながら取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

重点課題1

協同組合運動の理念を広げ、よりよい明日のために協同の心が息づく取り組みをすすめます

- ◆ 県内協同組合、生協の仲間、協同セクターと連携し、地域社会に貢献できるよう活動します。
- ◆ 行政・諸団体との信頼関係を強め、コミュニケーションと連携を図ります。食の安全や、防災・減災、介護、消費者問題などのテーマで交流します。
- ◆ 東日本大震災を忘れず、協同組合の精神を以って全国の仲間とともに息の長い支援活動に参加します。
- ◆ 安心して暮らせる地域づくりに貢献します。介護保険改定による新しい地域支援事業が県内市町村で進むよう、行政や関連機関、諸団体と協力します。地域共生社会をめざし県南部東部の地域振興の取り組みに参加します。

重点課題3

終戦・被爆70年を節目に平和と核兵器廃絶の運動を強めます

- ◆ NPT再検討会議に代表を送る取り組みを通して、核兵器廃絶と平和の願いを県内に広げます。
- ◆ ピースアクション2015inならは終戦・被爆70年企画とし、戦後日本の歩みを振り返りながら世界情勢の中で核兵器廃絶の重要性を考え、多くの人とともに平和の願いを共有する機会とします。

重点課題2

社会的諸課題に関心を持ち主体的に行動する消費者を増やし、消費者市民社会の形成に寄与します

- ◆ 食の安全安心についてのコミュニケーションをすすめます。
- ◆ 地域ネットワークの力を生かし消費者問題に取り組みます。なら消費者ねっとの活動を支援します。
- ◆ アースデー、なんゆう祭、つながり祭など環境や福祉、地域振興をテーマとしたイベントに参加し、県内の諸団体との交流をすすめます。
- ◆ 諸団体との連携で、憲法や社会保障、公共料金、地球温暖化などの社会的諸課題を学び考える場をつくります。
- ◆ 再生可能エネルギーをすすめる市民活動を応援します。

重点課題4

会員の活動支援と連帯を強めます

- ◆ いのちと健康のための生協運動を奈良の地に根付かせるため、奈良県医療福祉生協の事業安定化を支援します。
- ◆ 生協組合員理事交流会を執行委員会形式で開催し、連帯や協同についてともに考え学びます。
- ◆ 奈良地区大学生協部会に参加し大学生協の運営を支援します。

もくじ

2015年度 奈良県生協連の活動方針	1	低炭素地域づくり交流会議	7
役職員研修	2	医療福祉生協創立祭・奈良県生協連第25期	
第25回奈良県生協大会	3	通常総会開催(公告)	8
生協大会・会員報告・NPT再検討会議	4	3.11をわすれない	9
おじゃましました・大阪樟蔭女子大学生協	5	企業の社会貢献セミナー・理事会報告	10
食の安全	6		

2015年3月30日 奈良商工会議所

奈良県生協連会員生協役職員研修会(公開企画)を開催しました

福島の実況と食と農の再生にむけた取り組み

講師:小山良太氏

福島大学経済経営学類教授

うつくしまふくしま未来支援センター副センター長



小山 良太氏

東日本大震災から4年。原子力発電所事故で大きく傷ついた被災地福島。その現状とたたかう人々の姿を、遠く離れた地・奈良の私たちが学び、それを多くの人に伝えて復興を後押しする力となっていけるようにと、福島大学の小山良太先生に講演をお願いしました。組合員、役職員、49人が参加、復興支援の課題について深く考え感じる機会となりました。またご自身も南相馬市で被災され、奈良県への避難者の支援活動に取り組んでいる奈良県被災者の会代表の高橋周介さんの報告も聴くことができました。

～小山先生のお話から～

- ◆福島県では震災関連死が3000人といわれ、直接の犠牲者の数を大きく上回っています。避難先での生活の厳しさやコミュニティの分断等、多くの問題がこの先も長期的に続きます。
- ◆JA、漁協、森林組合、生協、大学、諸機関による福島県の協同組合間協同では、福島の子ども保養プロジェクト、土壌スクリーニングプロジェクト、JA福島中央会の損害賠償対策協議会、コープふくしまの「影膳調査」、生協連の食品バケレルモニター活動、地産地消における安全性の確保など、復興の段階に応じて取り組みをすすめてきました。
- ◆特に放射能測定と検査で食品の安全を担保することに取り組んでいます。
 - ①全農地の放射性物質分布マップを作成し②科学的な分析による植物体ごとの吸収抑制③食品モニタリング検査④直売所、小学校など消費地での食品検査を実施して生産対策に結び付けています。高レベル圃場の抽出、作物ごとのセシウム137蓄積度合いの把握によって、リスクがあれば生産を自粛しリスク回避する。米の全量全袋検査は2013年度は基準値超えが1件ありましたが、2014年度はゼロ件におさえることができました。吸収抑制対策の成果といえます。しかしこうした努力は消費者にはほとんど伝わっていません。また、マップは公開してこそいわれるが、地価下落などが懸念され壁となっています。
- ◆4年間で21兆円規模の賠償・補償・廃炉費用が投じられましたが今後もこれが40年から100年続いてきます。しかし土壌スクリーニングやうつくしまふくしま未来支援センターの活動、生協の活動などはすべて民間の持ち出しで成り立ってきています。今回の原子力災害で原子力災害特別措置法の法改正はありましたが、この法律はJOC事故レベルの範囲想定なので不十分です。すべての原子力災害に対応できる原子力災害基本法の制定が必要です。

～奈良県被災者の会 高橋周介さんの報告～

奈良県における避難者の状況と実態、会のこれから

- ◆私も被災者で福島県南相馬市より奈良に来ました。NPOの支援活動に携わる中で、当事者の互助会が必要と考え、2012年3月に会を立ち上げました。相談窓口の活動や避難者同士の交流会を実施しています。
- ◆会員の方にヒアリング調査を行いました。母子の生活はやはり厳しいことや、就労、住居の不安があること、奈良の地で子どもが成長していくことでの複雑な思いなどがみえました。
- ◆いま、都祁で農業と農家レストラン経営を計画しています。会社運営するので雇用も生まれ、避難者の方とともに生活基盤をみんなで構築し、同時にこの地域になじんでいければよいと思います。
- ◆私たちは奈良で生活する事を選びましたが決して故郷の思いが無くなったわけではない。みんなそれぞれ思いを抱えて今、生活していることを理解して頂ければ嬉しい。そして、県外にそして奈良に避難している方々にも意識を向けてほしいと願っています。



高橋 周介氏

第25回奈良県生協大会を開催しました

2月7日 奈良商工会議所

テーマ 地域共生社会をめざして

～森・水・エネルギー・人のきずな PART2～

第25回生協大会は2015年2月7日、継続して取り組んできた「地域共生社会をめざして」をテーマに開催しました。バイオスタウンで全国的に注目されている岡山県真庭市から太田昇市長をお招きし地域資源を生かしたまちづくりについて学びました。また、奈良県森林組合連合会代表理事専務の北野享司氏からは奈良県における木質バイオマス発電について報告がありました。自然エネルギーや地域創生に関心が高まる中、行政や関連諸団体、市民の皆様からも多数の参加をいただき、当日は163人が集う場となりました。

■**ご来賓挨拶** 奈良県くらし創造部長影山清氏は、県では紀伊半島大水害の復興が進み全避難者が帰宅できたこと、これから南部東部の本格的な地域振興が始まることを述べられ、生協の活動への期待のことばを頂戴しました。



奈良県 影山部長

- ◆**ご来賓の皆様** <行政>○奈良県くらし創造部部長 影山清氏○奈良市市長代理環境部参事 大西弘準氏○生駒市市長 山下真氏○斑鳩町町長 小城利重氏○吉野町副町長 小松正氏○大淀町副町長 南光昭氏○川上村村長 栗山忠昭氏○東吉野村副村長 福神万平氏 <県会議員>○猪奥美里氏○今井光子氏 <諸団体>○近畿労働金庫地域共生推進部部長 浦田和久氏
- ◆**メッセージ・祝電を頂戴しました** 仲川現奈良市長○山村吉由広陵町長○太田好紀五條市長○森下豊樞原市長○植村家忠高取町長○福西力上北山村長 ～ありがとうございました～

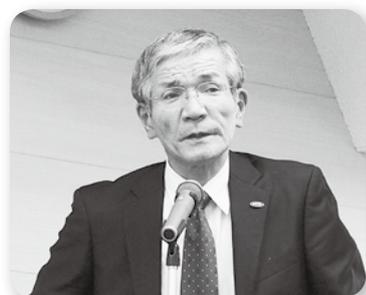
■基調講演 地域資源を活用した地域戦略 ～「バイオマス」を中心として～

講師：岡山県真庭市市長 太田昇氏

真庭市は人口約48000人で高齢化率34.2%ですが多彩な自然資源に恵まれた地域。太田市長は森林などの自然資源を軸に人と産業をつなぎ、活かし、真庭市全体を活性化へと導いた「地域戦略」についてお話しされました。バイオマス事業は「真庭塾」という住民・企業の自発的な活動で始まり、発電、CLT活用等にも取り組んでいます。バイオマスの活用により、エネルギー自給率向上、雇用拡大、CO₂排出減、森林機能の回復などの直接効果に加え、観光、地域力向上、地域人材が育つ、などにつながります。都市への一極集中ではなく地方が中心となる経済循環のあり方をわかりやすく語られました。



真庭市 太田市長

奈良県森林組合連合会
北野代表理事専務
■報告 奈良県における木質バイオマス発電

奈良県森林組合連合会代表理事専務 北野享司氏

次年度に稼働を予定している大淀町馬佐の木質バイオマス発電所について説明がありました。年間売電量4300万kWhで12000世帯分の電気がまかなえ、林業などの雇用創出にもつながるということです。また、奈良県は間伐を要する戦後造林の占める割合が大きいこと、蓄積量は十分なのにそれを山から切り出すのにかかるコストが問題であることなど、県の森林の現状を話されました。

■会員報告：くらしづくり・まちづくりの活動

- 奈良女子大学生協 齋田早記さん……学生委員がつくった「教職員向け生協ガイドブック」
- コープ自然派奈良 辰巳千嘉子さん……しあわせつなごう いのちのごはん
- 生活クラブ生協 甲斐京子さん……生活クラブのエネルギー事業について
- ならコープ 吉田由香さん……ならコープの買い物支援～奈良市青山地域とのつながり～
- 奈良県労済生協 岡田真さん……地域とともに「夏祭り」
- 奈良県医療福祉生協 堀脇純子さん 湊初恵さん……今日も元気ころばん体操！

■ NPT 再検討会議代表派遣者の紹介

奈良県生協連

村上 泰三さん (奈良教育大学)

ならコープ

小比賀博美さん (南エリア委員)

今年4月のNPT（核不拡散条約）再検討会議に派遣される村上さんと小比賀さんの二人が紹介され、核兵器廃絶と平和の願いについて思いを語りました。



「ころばん体操」をする会場のみなさん



NPT再検討会議代表派遣者 村上さんと小比賀さん

核兵器廃絶の願いを世界に伝えてきます NPT再検討会議で被爆者の方とともに

被爆70年の今年、5年に1度のNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議がニューヨークの国連本部で開催されます（4/27～5/22）。全国の生協から93名の代表団が日本原水爆被害者団体協議会の49名の代表の方々とともに、ニューヨークで被爆の実相を伝え、核兵器廃絶の願いを世界の人々に呼びかけてきます。2月28日には、日本生協連で生協代表団の結団式が行われました。

奈良県内の生協からは、奈良県生協連から村上泰三さん（奈良教育大学4回生）、ならコープから小比賀博美さんが全国の生協の仲間とともに、被爆者をサポートしながら被爆証言の活動や国連での原爆パネル展での説明、NGO主催の平和パレード、核兵器廃絶への具多的な道筋をつけるための要請活動に参加します。

核軍縮のスピードが上がらない中、核兵器の人的影響に関する国際会議など様々な努力がすすめられ、核兵器の非人道性の認識が広がっています。このような中で、今回のNPTは、「核兵器のない世界」への道筋を確かなものにするために、極めて大切な会議となります。被爆者、そして全人類の共通の願いである「核兵器のない平和な世界」が一日も早く実現できるように奈良県生協連も皆さんとともに活動を進めていきます。



村上 泰三さん



小比賀 博美さん

生協代表団のスケジュール

4/24 (金)	日本発～ニューヨーク着
4/25 (土)	代表団全体昼食会
4/26 (日)	核兵器廃絶のためのNGO共同行動（集会・平和パレードに参加）
4/27 (月)	(NPT再検討会議開会) 証言活動、国連原爆展オープニングセレモニー
4/28 (火)	証言活動 国連原爆展
4/29 (水)	証言活動 国連原爆展 代表団全体夕食会
4/30 (木)	ニューヨーク発
5/1 (金)	日本着

おじゃました～さよなら、大阪樟蔭女子大学生協の巻～

大阪樟蔭女子大学では、2015年4月より関屋キャンパスを小阪キャンパス（大阪）1箇所統合されます。それに伴い生協も小阪キャンパスだけになります。統合後は「奈良県生協連」から離れ、「大阪府生協連」「大学生協阪神事業連合」に加入されることになります。

学生委員会もキャンパス統合後の入学イベントに向けて関屋キャンパスと小阪キャンパスの学生委員会が合同で打ち合わせをするとのことで、2月3日に奈良県生協連としては最後の取材に出かけました。



小阪キャンパスは歴史あるキャンパス



地下の学生ラウンジ



↑生協の食堂入口



生協食堂 →



(左から)
小阪キャンパス副委員長 金久晴苗さん
委員長 佐々木万由さん



(右から)
関屋キャンパス副委員長 遠山真由さん
京滋・奈良ブロック 大槻美奈さん

大阪樟蔭女子大学では、施設工事が進められていました。関屋キャンパスと小阪キャンパスの生協学生委員会では、距離も離れており、今まで交流する機会もなく、各学部の特徴もあったことから、まずはお互いが知ることから始めたそうです。関屋キャンパスの生協の方が、歴史が長く、児童学科や心理学科の特徴もあり“遊びの色”が濃かった一方で、小阪キャンパスでは6学科あり、ひろくみんなに受け入れてもらえる工夫をしてくられたとのこと。昨年の夏頃から学習や研修を通じて交流の機会をもったそうです。学科が異なるために日程調整が難航し、「LINE」で日程調整。顔をあわせる機会を増やしてきました。

小阪キャンパスに統合されることで、今まで関屋キャンパスでは800人だった学生が小阪キャンパスにまとまり2,400人規模の生協になることとなります。2,400人の学生に対応できる食堂運営をはじめ、期待に応えられる生協になれるように頑張りたいと後藤専務。4月に、奈良を離れることはさびしいことですが、未来に向かってエールを送ります。



<第23回>奈良県食品安全・安心懇話会が 開催されました



2015年3月9日春日野荘（奈良市）にて今年度2回目の懇話会が開催されました。

- (1) 平成27年度奈良県食品衛生監視指導計画（案）について
- (2) 奈良県食品衛生法施行条例の一部改正について
- (3) 奈良県HACCP自主衛生管理認証制度について
- (4) 平成26年度リスクコミュニケーション
「ジュニア食品安全ゼミナール」
- (5) 委員からの提案議題

①食品表示について ②食中毒について ③食の安全・安心に関する報道について ④地産地消についての議題が審議されました。

危害分析・重要管理点方式（HACCP）を用いて衛生管理を行う場合の管理運営基準を新たに規定するなど、奈良県HACCP自主衛生管理認証制度の取り組みが動き出しました。



平成27年度 奈良県食品衛生監視指導計画案に対する意見

飲食によっておこる衛生上の危害の発生を防止、県民等の健康の保護を図ることを目的として、食品衛生法の規定に基づき、毎年度、奈良県食品衛生監視指導計画が定められています。地域の実情を踏まえ効果的に監視指導を行うために定めるもので、広く県民から意見を求められており、平成27年度の計画に対して、奈良県生協連として以下の4つのポイントで意見を提出しました。

- ①食中毒防止対策のための食品事業者や学校教育機関との連携の強化
- ②食品表示法の理解のための消費者や食品事業者への情報提供
- ③食品に含まれる放射性物質検査の水産物への拡充および情報提供
- ④若い世代の県民との意見交換の場の拡充

新たな食品表示ルールがスタートします!!

今年4月から新しい食品表示法が施行され、これまで法律ごとにバラバラだった58の表示基準が統合、改善されます。

- ①消費者に分かりづらかった加工食品と生鮮食品との区分の統一
- ②製造所固有記号の使用ルールの改善
- ③アレルギー表示は一括ではなく原則個別表示にし、これまで省略可能だった特定枠を廃止
- ④加工食品および添加物への栄養成分表示を義務付け
- ⑤原材料名を重量順に表示する

——などが主なポイントです。栄養表示は消費者向けの全てのものが対象で、エネルギー、タンパク質、脂質、炭水化物、ナトリウム（食塩相当量）が義務表示項目、飽和脂肪酸、食物繊維も推奨表示項目となります。

また、いわゆる健康食品の表示内容を担保する制度である特定保健用食品等の他に、新たな機能性表示制度を創設し、事業者が機能性と安全性の科学的根拠を示して届け出れば「特定の保健の目的が期待できる」ことを表示できることにしました。

加工食品は5年、生鮮食品は1年6か月の経過措置期間を経たのちに新ルールに完全移行となります。今後は中食・外食のアレルギー表示、インターネット販売の取扱い、遺伝子組み換え表示、加工食品の原料原産地表示等についても順次検討がすすめられます。

低炭素の地域づくり交流会議・奈良（第2回）開催

2015年2月9日（月）奈良県経済倶楽部（奈良市）にて地域未来エネルギー奈良主催の交流会議があり、行政（県、奈良市、橿原市、生駒市、平群町）、生協関係（奈良県生協連、ならコープ、コープ自然派奈良）、研究者、NPOなど49名が参加しました。

国際動向や全国の動き、奈良県内の動向について、東吉野小水力発電、ソーラーシェアリングの県内事例、吉野木質バイオマス発電所計画、自治体アンケート結果などの報告があり、その後、各団体の動向を共有しました。

この会議は2012年から3年目、8回目の会議であり、県内の再生可能エネルギーに絞って情報共有を行ってきました。市民・地域主体での取り組みでは、市民ファンドによる太陽光市民共同発電所が2つ、小水力発電所計画が1つできました。奈良県生協連は当初から開催支援をしてきました。次年度は「フォーラム」と対象を拡大して継続されるようです。



低炭素の地域づくり交流会議の様子

関西電力の電気料金値上げへの対応

2014年12月に関西電力が電気料金の再値上げを経済産業省に認可申請しました。わずか2年で家庭向けなどの規制分野では料金を4月1日から平均10.23%再値上げするという申請で、標準的な家庭では月744円の値上げになります。なお、認可が不要の大口向け料金は平均13.93%値上げする申請になります。

認可申請は経済産業省で審査されますが、国民の声を聴くために、消費者庁消費者調査課主催の意見交換会、経済産業省資源エネルギー庁近畿経済産業局主催の公聴会が開催され、意見陳述人の募集に応じ、消費者の立場で市民生活に影響を多大に及ぼす電気料金値上げに反対の意見陳述を行いました。

また、奈良県生協連も構成メンバーである「関西消費者団体連絡懇談会」主催で関西電力との意見交換会を開催しました。



関西電力との意見交換会の様子

近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会

2015年3月3日（火）京都のせいきょう会館にて近畿農政局と近畿地区の6生協府県連との意見交換会がありました。近畿農政局からは曾根則人農政局長はじめ8名、生協からは、滋賀、大阪、奈良、兵庫、和歌山、京都、関西地連から計18名が参加しました。

「『攻めの農林水産業』の実現に向けた新たな政策の概要」「新たな食料・農業・農村基本計画の検討について」「農山村における再生可能エネルギーを活用した近畿圏での具体的取組み事例」について情報提供があり、その後、「食品ロス削減に向けて」（近畿農政局）、ならコープ「食品ロスを考える～ならコープ（北エリア）のたべる、たいせつの取組み」（ならコープ）、「コープこうべにおける資源循環と環境共生型農園・エコファームについて」（兵庫県生協連）、「フードバンクの取組み『生協の取組み事例紹介』」（日本生協連関西地連）の事例報告を受け、「食品ロス削減に向けての取組み」をテーマに、意見交換が行われました。



近畿農政局との意見交換会

奈良県医療福祉生協 第3回 創立祭

みみなし診療所

奈良県医療福祉生協 みみなし診療所で第3回創立祭が3月29日（日）開催されました。当日はあいにくの雨模様の天気の中、場所を生協ホールの中に移し、健康チェック・模擬店・手作りコーナーなどに多くの応援団体が参加していました。

模擬店では今話題の発酵食品「米麴を使って作ったあま酒」や炊き込みご飯、ソーセージなどのほか子ども達が折り紙で小物をつくったり、針金ハンガーで作る「パチンコ」を使って楽しそうに遊んでいました。また今年一年たくさんの人が集う地域の健康づくりの拠点となってもらいたいと思いました。



コープ自然派奈良ブース

針金ハンガーで作った
パチンコづくりコーナー

労済生協のブース



組合員活動委員会のブース



小物作りコーナー



奈良県生協連第26期通常総会開催について

当会 定款第49条にもとづき、第26期通常総会を下記の通り、開催致します。

記

1. 日 時 2015年6月20日(土) 10:00～12:30
2. 会 場 奈良ロイヤルホテル 奈良市法華寺町254-1 TEL:0742-34-1131
3. 議 案
 - 第1号議案 2014年度事業報告・決算関係書類承認の件
 - 第2号議案 2015年度事業計画及び予算案決定の件
 - 第3号議案 役員選任の件
 - 第4号議案 役員報酬決定の件
 - 第5号議案 議案決議効力発生の件
4. 代議員の選出について
 会員規約第3条及び第4条にもとづき、代議員は、会員ごとに定める選出方法により選出し、
 会員生協の定数は3人とします。

2015年3月5日

3.11 を忘れない。

みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

これからも待ち受けるハードル

沿岸部の景色はまだ模様に変化してきました。がれきの処理が終わり、土地の嵩上げ工事や復興住宅の建設が進む一方で、壊れた防波堤や水門、建物がいまだに残る場所もあります。仮設住宅には現在も約7万人が暮らし、集団移転事業で住宅建設が可能になった宅地は計画の3割にも達しません(※)。造成工事が長引き、地価や建築費の高騰でより厳しい状況に直面している人や、移転を待ちきれず故郷を出た人たちもいます。

南三陸町志津川地区まちづくり協議会は、住民による自主的な復興まちづくりを進めるため、集団移転や市街地形成など様々な協議を重ね、意見を集約して行政に提言しています。「4年も経つので住民の間には焦りや不満が出ている」と協議会の及川善祐会長は話します。「しかし我々住民の気持ちがバラバラでは統一したまちづくりはできない。そうならないように良い方法を決めて、協力し合う環境をつくっていくのが協議会の役目です」。

集団移転一つとっても区画配置、移転方法、店舗付住宅の内容など懸案事項は無数にあります。さらに高齢化が進む移転先で買物や病院、交通など生活に必要なインフラをどう確保するか、個々のニーズと公平性のバランスをどうとっていくかを考える状況が続きます。

志津川地区には3ヶ所の集団移転団地が計画されています。工事完了はまだ先で、なかには再来年引き渡し予定の区画もあります。家が建つのはその後で、さらに新コミュニティ形成という最大の課題が待ち受けています。及川会長は「いままで交流のなかった者同士が隣組になる。そのなかで新しいコミュニティをつくっていかなければならない」とその難しさを説明します。

ハードルはまだまだ幾つも残っています。被災した方々がそのハードルを飛び越える過程で確実に希望の種を増やしていくことを祈らずにはられません。

※宮城県「復興の進捗状況 平成27年2月11日」

情報提供／みやぎ生協



第31回志津川地区まちづくり協議会役員会(2/24開催)。当日は浸水区域の土地利用計画や店舗付住宅について話し合いがもたれた。



2015年秋の開院予定を目指し、工事が進む
「(仮称)町立南三陸病院・総合ケアセンター」

なら消費者ねっと総会・記念学習会

【日時】5月30日(土) 13:30～16:30 【会場】奈良文化会館 2階集会室AB

- 13:30～15:00 第1部 なら消費者ねっと 第2回定期総会
第2部 特定非営利活動法人 なら消費者ねっと 設立総会
- 15:10～16:30 第3部 記念学習会 講師:DeNA(カスタマーサポート)
「み～つけた! インターネット・スマートフォンのおとし穴」

主催：社会福祉法人奈良県社会福祉協議会
 企画・運営協力：「企業の社会貢献検討会」参加企業・団体

「企業の社会貢献セミナー」が 開催されました



2月24日（火） 奈良県社会福祉総合センター

企業経営におけるCSR活動に注目が集まる中、企業の本業などを活かした取り組みの一つとして社会貢献活動が重要視されています。こうした取り組みを検討するため昨年10月より奈良県社会福祉協議会の呼びかけで県内企業、団体、生協などによる「企業の社会貢献検討会」が立ち上がり、奈良県生協連も参加しています。

このほど県社会福祉協議会の主催、検討会参加企業・団体の企画・運営協力で、「企業の社会貢献セミナー」が開催され、企業の社会貢献推進担当者、ボランティア・NPO、市町村社協担当者などこの問題に関心のある方が集まりました。基調講演は「淡海（おうみ）フィランソロピー ネットから 過去・現在・未来」と題して同ネット顧問の松田弘氏がお話しされました。滋賀県でのネットワーク立上げ経過や活動内容などについて知ることができました。また、県内企業の取り組み事例として奈良中央信用金庫、（公社）日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会、ならコープからそれぞれ報告がありました。今後、企業や団体の連携による社会貢献活動をすすめるうえで参考になるセミナーとなりました。



県内の社会貢献活動の事例報告（ならコープ）

奈良県生協連第5回理事会

1月15日 奈良商工会議所

- (1) 第25回奈良県生協大会開催に関する件（第3次）
- (2) 2015年度方針骨子の件
- (3) 2015年度（第26期）県連総会の準備等に関する件
- (4) 2015年度役員選任に関する件
- (5) その他事項の件
 - ①2014年度県連会員生協役職員研修会
 - ②平成26年度地方消費者グループ・フォーラム in 滋賀
 - ③2015年度主要日程案について

奈良県生協連第6回理事会

3月12日 奈良県文化会館

- (1) 第25回奈良県生協大会開催の報告
- (2) 2015年度（第26期）県連総会の準備等に関する件（2次）
- (3) 2015年NPT再検討会議に向けての取り組みについて
- (4) その他事項の件
 - ①大阪樟蔭女子大学生協の奈良県生協連脱退と後藤理事の辞任の件
 - ②日本生協連第65回総会代議員、関西地連運営委員推薦について
 - ③「アースデー 2015in なら」共催と参加要請について

県連日誌

1月

- 10日 「森林の適切な保全と活用シンポジウム」
- 13日 日本生協連全国政策討論集会
- 14日
- 15日 奈良県生協連理事会
- 21日 奈良県環境審議会 水質部会
- 23日 なら消費者ねっと運営委員会
- 24日 「COP20報告会」
- 24日 野迫川村道普請活動報告シンポジウム
- 26日 吉野共生推進P J
- 26日 組合員理事交流会実行委員会
- 29日 関西地連運営委員会
- 29日 県連活動推進会議
- 31日 シンポジウム「電気の未来、エネルギーの未来PART2」

2月

- 4日 「地方消費者グループフォーラム in 滋賀」
- 5日 奈良県環境審議会
- 7日 第25回奈良県生協大会
- 9日 低炭素の地域づくり交流会 議・奈良
- 10日 関西電力値上げ意見交換会 (消費者庁)
- 14日 「木質バイオマス利活用フォーラム」
- 17日 関西電力値上げ意見交換会 (関西消懇)
- 18日 「地域とつながるフォーラム」
- 19日 奈良県消費生活審議会
- 19日 同消費者教育推進部会
- 23日 ピースアクションをすすめる会
- 24日 企業の社会貢献活動セミナー
- 近畿農政局奈良地域センター消費者団体等との意見交換会
- 27日 なら消費者ねっと運営委員会
- NPT再検討会議生協代表
- 28日 団結団式・ピースアクション2015キックオフ集会

3月

- 3日 近畿地区府県連協議会と近畿農政局の意見交換会
- 3日 電力料金値上げ公聴会 (経産省)
- 4日 生活支援サービスに関する奈良県社会福祉協議会との懇談
- 12日 奈良県生協連理事会
- 21日 近畿地区生協府県連協議会
- 23日 奈良県農政推進会議
- 29日 奈良県医療福祉生協創立祭
- 30日 奈良県生協連会員生協役職員研修会



アースデー2015 inなら

1990年から環境問題を考え、行動する日として定着してきたアースデー。

25回目を迎える今年も飛鳥石舞台周辺で開催します。

- 開催日時：平成27年4月19日(日)10時～15時
- 開催場所：国営飛鳥歴史公園 石舞台広場
- 内容：「吉野共生プロジェクト」「菜の花エコプロジェクト」、パネル展示、模擬店、環境関連団体など出展、吉野特産物コーナー、体験コーナー、資源循環型コーナー、フリーマーケット (主催：ならコープ 共催：奈良県生協連)

編集後記

娘が二人目妊娠の不調で、業務の合間をぬいながら名古屋まで応援に通う日々。体力は限界でも孫娘と遊んで気持ちだけは元気になります。今は自身の自分もそういえばこうして家族と共に過ごす日々があつたなあと懐かしみつづ… (由)

大阪樟蔭女子大生協さんが奈良のキャンパスを閉じて奈良から離れていけます。大阪での発展にエールを送ります。また、各生協の人事異動で奈良を離れる方々が複数いらつしやいます。春はお別れと出会の季節です。 (順)

東大寺二月堂のお水取りも終わる奈良に少しずつ春の足音が聞こえてきました。桜の花が待ち遠しい季節です。 (佳)

3月で定年退職となりました。これまで支えていただいたすべての素晴らしいみなさんに感謝いたします。生協に入協した時から、くらしも生協も大きく変わりました。「組合員による、組合員のための」生協の理念は今後も変わらず発展し続けることを願っています。(もう少し今の職務を継続させていただくことになりましたが…) (和)